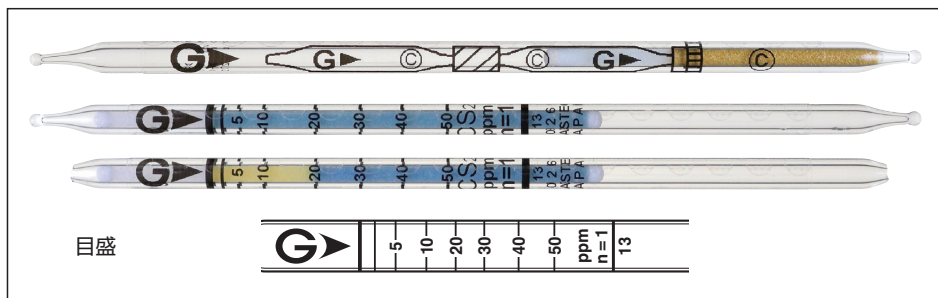


# 二硫化炭素 CS<sub>2</sub>

No.13

Carbon disulfide



**仕様** 最低目盛 (2.5ppm) は数値の記載が無く、実線のみで印刷してあります。

測定範囲	0.63 ~ 1.25 ppm	1.25 ~ 2.5 ppm	(2.5) ~ 50 ppm	50 ~ 100 ppm
吸引回数	4回 (400mL)	2回 (200mL)	1回(基準) (100mL)	1/2回 (50mL)
係数	0.25	0.5	1	2.0
測定所要時間	12分	6分	3分	1.5分

検知限度： 0.3 ppm (4回吸引)

変色： 青色 → 黄色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 36 か月

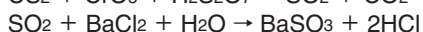
変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 =  $\sigma$  : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

## 反応原理

二硫化炭素は二酸化イオウに酸化され、塩化バリウムと反応して塩化水素を生成し、指示薬は黄色を呈する。



HCl + 塩基 → 塩化物

## 干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
アンモニア	200ppm以下 1/5倍以上	影響しない	変色しない
シアン化水素		影響しない	変色しない
二酸化イオウ		+	黄色に変色

除去剤：硫化水素を除去する。

## 校正用ガス

ガス拡散管法